

平成27年 萩市議会9月定例会

一般質問通告者

質問順序	議席番号	通 告 者	摘 要
1	14	大 村 赳 夫	9月7日午前
2	12	波多野 勝	
3	7	美 原 喜 大	午後
4	11	西 中 忍	
5	2	石 飛 孝 道	
6	3	大 久 勲	
7	10	関 伸 久	9月8日午前
8	19	斉 藤 眞 治	
9	4	小 池 太 一	午後
10	20	柴 田 保 央	
11	5	佐々木 公 惠	
12	16	中 野 伸	9月9日午前
13	17	松 尾 義 人	
14	18	守 永 忠 世	午後
15	9	佐々木 武 夫	
16	23	宮 内 欣 二	
17	1	五十嵐 仁 美	

質問順位	1	質問者	大村 赳夫 議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 世界遺産登録に関連して	<p>世界遺産登録から、約2ヶ月その経済効果をどうみるか。お伺いします。</p> <p>その効用を市建設のバネとして活かすめよ。</p>		
2. 薩長同盟（連合）150年に関連して	<p>来年1月22日は薩長同盟150年の節目の年です。史実に学び薩長新時代の序曲を奏でませんか。記念事業としてどんなことをお考えですか。</p> <p>ボンで鹿児島、長崎の各市長さんとエポックメイキングなお出会いがあったようですが、世界遺産登録新時代に向かう意気込みを伺います。</p>		

質問順位	2	質問者	波多野 勝 議員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 総合戦略策定への若い世代の参画について	<p>1. 萩市の総合戦略策定のための会議については、どのような観点から構成メンバーを選定されましたか。</p> <p>2. 会議のメンバーの年齢別および性別構成を伺いたい。</p> <p>3. 総合戦略策定に当たっては、萩市の将来を担う世代や地方創生のための施策の対象となる子育て世代などの意見を十分に取り入れられる必要があるのではないのでしょうか。</p>		
2. 世界遺産を活用した地域振興について	<p>1. 教育 学校教育や社会教育導入していく試みは重要である。</p> <p>2. 観光 ユネスコの世界遺産は、日本が内外に誇れる観光資源であり世界遺産を活用した持続可能な観光の推進体制を強化。</p> <p>3. 地域づくり・町づくり 世界遺産にふさわしい地域づくり・町づくり</p>		
3. 特措法制定を踏まえた空き家の維持管理について	<p>1. 特措法制定と地方税制の一部を改正する法について</p>		

質問順位	3	質問者	美原喜大議員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 災害復旧について	1. 小災害について 公共災、農災、林災について現状と未実施地区への今後の対応について聞く。 2. 復興局の体制について		
2. 防災について	1. 防犯カメラの設置について 現状と今後の対応について聞く		

質問順位	4	質問者	西 中 忍 議員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 選挙権年齢の引き下げをうけた、投票率向上の取組みについて	<p>本年6月17日に改正公職選挙法が成立し、投票できる年齢が20歳から18歳に引き下げられ、全国では約240万人、萩市でも900人程度、有権者が増えることになります。</p> <p>さて、近年、萩市で行われた選挙の投票率を見てみると、本年4月に行われた県議選が約51%、昨年4月の市議選が61%、一昨年行われた市長選で47%と低迷が続き、特に若年層の投票率は全体のそれよりも、さらに低いのではないかと思います。</p> <p>このような現状のまま、18・19歳という年齢層が有権者に加わることで、更に投票率が低下すると予想されます。</p> <p>私は、投票率の低迷が続いているという現状は、行政や議会に対する無関心の表れではないかと思っていますし、このことが地域に対する無関心につながるのではないかと心配しています。</p> <p>だからこそ、今回の法改正を契機に投票することの重要性を周知し、投票率を向上させる様々な取組みが重要だと考えています。</p> <p>そこでまず、投票率の低迷が続く現状と、今回の法改正に伴い、投票年齢が引き下げられたことについて、市長はどのように考えているのか所見をお尋ねします。</p> <p>次に、投票年齢の引き下げを受け、選挙管理委員会としてどのような取組みを行い、投票率の向上を図って行く考えなのかお尋ねします。</p> <p>さらに、18歳から投票できるということを踏まえ、特に中学生を中心に学校教育の中で、行政・議会に関心を持つことや、投票するということの重要性について今以上に教えていくことで、将来の萩市を支えて行くという自覚を持ってもらう必要があると思いますが、教育委員会としてどのように考えているのか、あわせてお尋ねします。</p>		
2. 法定外公共物の維持管理について	<p>市内に多くある法定外公共物ですが、その維持管理について、様々な問題が発生していると思います。</p> <p>法定外公共物は、平成12年から施行されている、いわゆ</p>		

質問項目	質問事項及び要旨
	<p>る地方分権一括法により、所有・管理とも国から市へ譲与されています。</p> <p>萩市でも、萩市法定外公共物管理条例が合併時の平成17年3月から施行され、その条文に利用者の責務として、「常に良好な状態で利用できるようその保全に努める」と規定されています。</p> <p>さて、この法定外公共物の管理についてですが、平成22年12月定例会で、悪臭問題という観点から一般質問が行われていますが、その時の市長答弁では、市内各所で、同様の問題が発生しているということを踏まえ、条例等のルールを作っていきたいという方向性を示されています。</p> <p>しかし、法定外公共物に関する問題は悪臭だけではなく、法定外公共物からの土砂流出という問題も発生しており、その対応に苦慮しているところもあります。</p> <p>私は、高齢化が急速に進む萩市の現状をみると、この法定外公共物の維持管理を、利用者のみで行うということは限界にきているのではないかと考えています。</p> <p>そこで、所有だけではなく管理についても譲与された市として法定外公共物の管理を今後どのように進めて行く考えなのか、市長の所見をお尋ねします。</p>

質問順位	5	質問者	石 飛 孝 道 議 員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 海水浴客の安全対策について	1. 近年、生息しはじめたウニに似た厄介者（ヒラタブンブク）の早期調査・駆除について		

質問順位	6	質問者	大久 勲 議員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 観光行政について	1. 免税対応レジへの助成 2. 山陰特別列車誘致について 3. 国際フェリーの誘客について県行政との連携について		
2. IT活用について	1. 道路等補修業務での活用について 2. 県下で最先端を行っている wifi 推進について		
3. 椿地区の祭事・文化伝承について	1. 椿地区における伝統文化、その継承について		

質問順位	7	質問者	関 伸 久 議 員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 観光客の連泊需要を掘り起こし、更なる経済効果を	<p>世界遺産の登録が叶い、萩市は今、活況を呈している。この夏、萩市を訪れる観光客も例年に比べ多く、特に世界遺産となったその構成資産には連日多くの観光客が訪れている。では、宿泊客はどうだろうか。まず、萩市の直近の宿泊客数の推移、そして参考までに近隣の長門市、山口市のその推移を訊く。</p> <p>最近の気になる傾向として、山口市（湯田温泉）を宿泊地として、萩市を訪れる観光客が例年よりも多く感じる。宿泊地として、萩市がその対象からはずれていないか。エージェントに市からもっと働きかける必要があるのではないか。観光行政を推進するにあたり、経済効果を求めるのは当然。1分1秒でも萩市に長く滞在してもらうことが利益となる。宿泊地が近隣他市となると萩市は日中観光となり、経済効果は限られてくる。この今の活況を余すことなく、萩市経済に行きわたらせる為には、この問題をどう解決するかだ。</p> <p>そこで提案したい。城下町として、そして明治維新の胎動の地として、その名を全国に知らしめた萩市は、今や世界の宝にもなった。次はジオパークを狙う。これだけ見どころの多い、まちは全国探してもそうはない。そして、これだけの観光スポットを見てまわるとすると1日観光では不十分である。そこで個別の宿泊施設や旅館組合に連泊を推進する様、市から働きかけができないだろうか。市の取組みに期待したい。</p>		

質問順位	8	質問者	斉藤眞治議員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 投票年齢引き下げ（18歳選挙権）への取り組みについて	<p>1. 小中学校教育における18歳選挙権をどう取り組みますか。</p> <p>2. 県内の高等学校で安全保障関連法案に関する模擬投票授業への県教育委員会の見解をどう受け止めていますか。</p> <p>3. 萩市選挙管理委員会としては、政治への関心策についてどう取り組みますか。</p>		
2. 5つの世界遺産と観光客の対応について	<p>1. 萩セミナーハウスの活用について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学生の研修の場として利用者の拡大を考えませんか。 <p>2. 観光客への「おもてなし」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・官民が一体となった各遺産への案内所の拡大を考えませんか。 ・観光客への「おもてなし」として、来客への話しかけ運動の推進を考えませんか。 		

質問順位	9	質問者	小池太一議員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 教育・観光企画商品の開発について	1. 2 県 4 市長会議にあった「観光列車めぐり」企画と JR の連携について 2. 宿泊滞在型の学生向け教育研修企画の商品開発について		

質問順位	10	質問者	柴田保央議員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 観光行政について	1. 大河ドラマ（花燃ゆ）館、世界遺産登録効果について <ul style="list-style-type: none"> ・観光客数（宿泊客数）の現況は ・経済効果について ・おもてなし及びリピーターの確保対策について ・各資産のセキュリティについて 		
2. 道路行政について	1. 山陰自動車道、萩小郡自動車道の開設、県道萩篠生線改良について <ul style="list-style-type: none"> ・現在のそれぞれの進捗について ・期成同盟会の働きかけについて 2. 市道の維持管理について		

質問順位	11	質問者	佐々木 公恵 議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 高齢者福祉の推進について	1. 高齢者の社会的孤立を防止する対策について 2. 高齢者の孤立死を防止する対策について		
2. 母子保健充実の推進について	1. 妊産婦・乳幼児における受動喫煙防止について		
3. 「18歳選挙権」への取り組みについて	1. 若年層への市政理解を進めるための取り組みについて 2. 教育現場の取り組みについて		

質問順位	1 2	質問者	中野 伸 議員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 県道萩篠生線の整備について	1. 如意ヶ嶽地区の改良について 2. 今後の見通しについて		
2. これからの地域医療とまちづくり	1. 統合医療の推進について		

質問順位	13	質問者	松尾義人 議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 上下水道施設の普及状況について	1. 上水道の各地域の普及状況について 2. 下水道の各地域の普及状況と今後の整備について		
2. 空き家対策について	1. 空き家情報バンク制度による定住の促進について 2. 危険な空き家対策について		

質問順位	14	質問者	守永忠世議員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 耕作放棄地の利活用について	1. 耕作放棄地の再利用について、草木・薬草又、太陽光や風力などの再生エネルギーによる発電等についておたずねをします。		
2. 空き家増に伴う対策について	1. 空き家を放置すると、倒壊の危険性も高まり放火されやすく、防火・防犯上の問題につながる。萩市における観光客や景観・市民生活にも悪影響する等さまざまな課題を抱えています。これらの問題について、おたずねをいたします。		

質問順位	15	質問者	佐々木 武夫 議員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 道路の予防・保全安全対策について	<ul style="list-style-type: none"> 1. 道路の予防保全の維持管理について 2. 国の防災・安全交付金の活用を 		
2. 離島対策について	<ul style="list-style-type: none"> 1. 輸送環境の改善について 2. 離島航路船賃の軽減について 3. 雇用確保、定住促進について 4. 生活環境の充実に向けての工夫改善について 		
3. 低炭素化社会に向けて	<ul style="list-style-type: none"> 1. 市民参加の「エネルギー自治」の取り組みを 		

質問順位	16	質問者	宮内欣二議員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 公共事業の公平公正さ確保と金権腐敗体質、癒着体質、利権構造の一扫について	<p>1. 6月議会の答弁で「その人物が職員に金を渡した」という事実が明らかにされた。職員が金銭も受け取っていたということになり、これまでの説明では解決できない、大きな問題ではないか。</p> <p>2. 隠ぺい体質では、金権腐敗癒着の構造は一扫できないのではないか。</p> <p>3. 市長は自身の対応、姿勢に反省すべき点があるとは思わないか。</p>		
2. 防災体制と災害復旧について	<p>1. 7.28 災害時の課題として、双方向の通信手段の確保があったが、その後どのような対策が行われているか。避難所となっている施設での現状はどうか。</p> <p>2. 市民の生活再建は、どの程度まで進んだと認識しているか。災害から2年たって、元通りの生活が取り戻せていない世帯をどう把握しているか。その対策をどう考えているか。</p>		
3. 地域医療体制について	<p>1. 地域医療介護総合法によって、萩市の病床数は10年後半減するのではないかという危惧があるが、どのような見通しを持っているか。またそれに対する対策をどう考えているか。</p> <p>2. 無料低額診療の実施を行う考えはないか。</p>		
4. 合併時からの周辺部の課題を解決する萩市総合戦略とはなにか。	<p>1. 萩市総合戦略素案が示されているが、合併時からの最大の課題である周辺部の過疎と高齢化による衰退という深刻な課題にどんな戦略が盛り込まれているのか。</p>		

質問順位	17	質問者	五十嵐 仁美 議員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. ごみ袋支給サービスの拡大について	1. 無料配布分に燃やせるごみ袋の小を入れることはできないか 2. 「家族介護用品支給」の対象品目の中にごみ袋も入れてはどうか 3. 少子化対策として、出産祝いに紙おむつ、粉ミルクの購入利用券と共にごみ袋も支給してはどうか		
2. 「地方創生」と「改正地域再生法」について	1. 「人口ビジョン」及び「総合戦略」の策定の進捗状況は 2. 「小さな拠点」の形成と総合事務所や支所の統廃合は矛盾していないか		
3. マイナンバーについて	1. マイナンバー制度とはどのような制度か 2. 個人情報が流出することはないか 3. 導入・維持には莫大な経費・事務費がかかるようだが、市の負担は		
4. 萩市職員募集のポスターについて	1. ポスター5人の男女の比率、構図の意図は 2. 今後のポスター制作において考慮・検討することは		